

藤沢商工会議所景気動向調査「2024年7月～9月期」報告書

会員企業36社にご協力をいただき、景気動向調査を2024年10月に実施しました。
2024年7月～9月期の調査結果を報告します。

【対象期間】2024年7月～9月期

【調査時期】2024年10月7日（月）～15日（火）

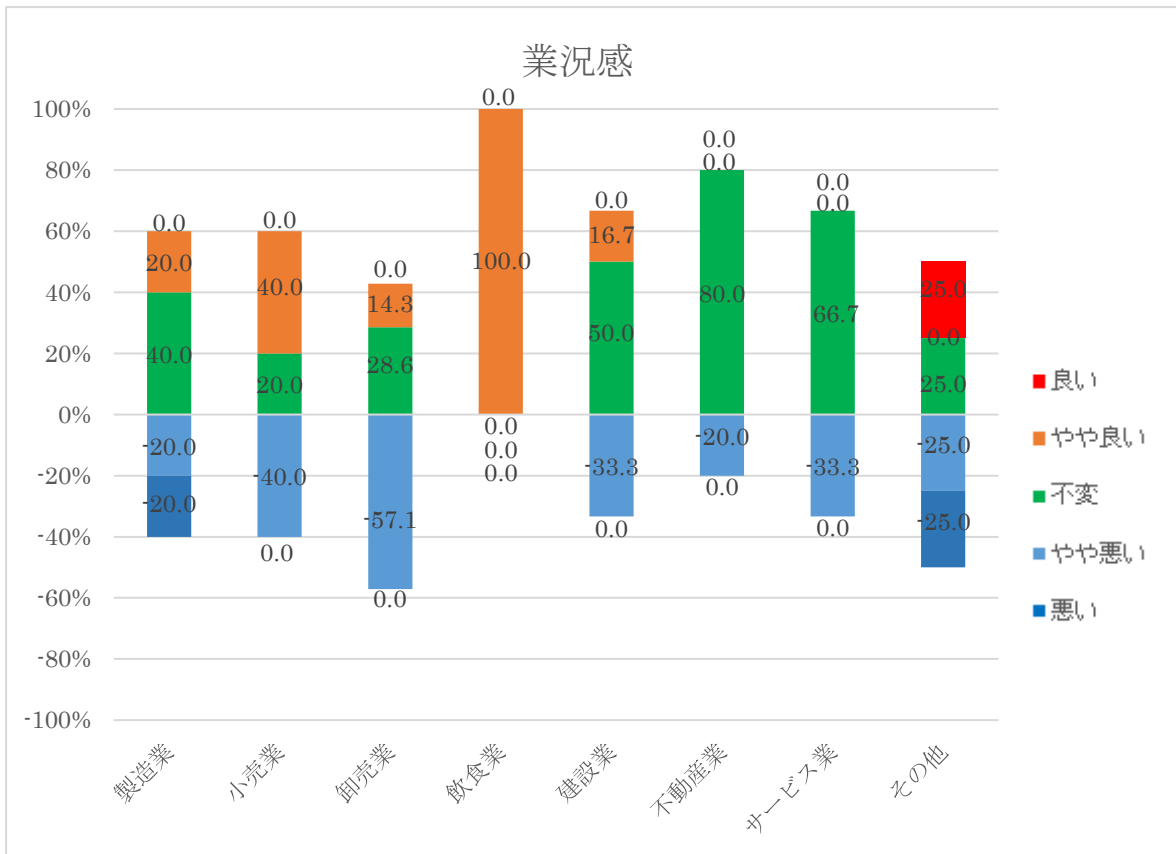
【調査方法】FAX調査（会員企業240社を対象に調査を実施。回答率は15.0%）

【回答企業】36社（内訳）製造業5件（13.9%） 小売業5件（13.9%）
卸売業7件（19.4%） 飲食業1件（2.8%）
建設業6件（16.7%） 不動産業5件（13.9%）
サービス業3件（8.3%） その他4件（11.1%）
合計36件（100%）

【従業員数】平均して5.4名（パート・アルバイトを含まない）

※当調査は、四半期毎に実施しております。

<業況感>



【製造業】「不変」と答えた企業が 40.0%（前期比 2.9 ポイント減）と最も多く、次いで「やや良い」、「やや悪い」、「悪い」と答えた企業が各 20.0%となった。

【小売業】「やや良い」、「やや悪い」と答えた企業が各 40.0%（前期比 25.7 ポイント増、2.9 ポイント減）と最も多く、次いで「不変」と答えた企業が 20.0%となった。

【卸売業】「やや悪い」と答えた企業が 57.1%（前期比 42.8 ポイント増）と最も多く、次いで「不変」と答えた企業が 28.6%となった。

【飲食業】前期と同じく「やや良い」と答えた企業が 100%となった。

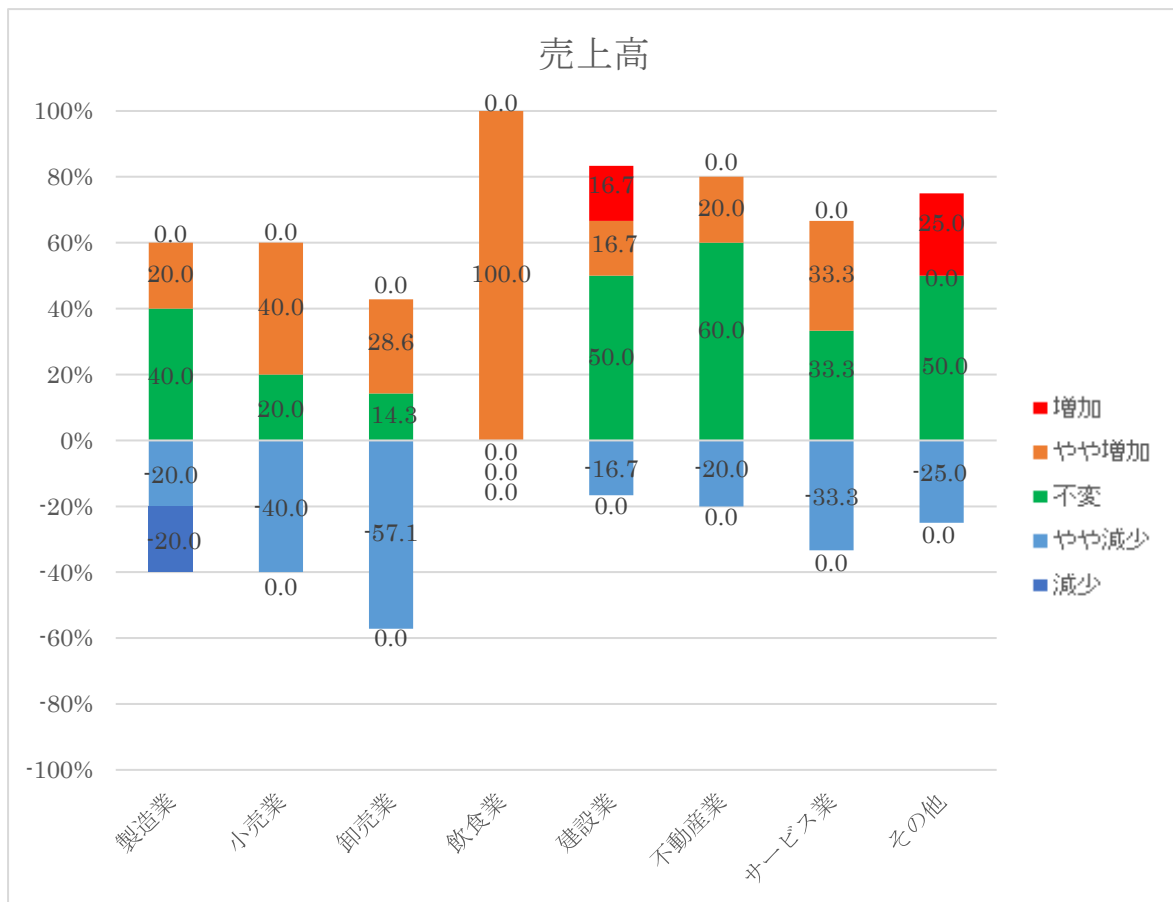
【建設業】「不変」と答えた企業が 50.0%（前期比 35.7 ポイント増）と最も多く、次いで「やや悪い」と答えた企業が 33.3%となった。

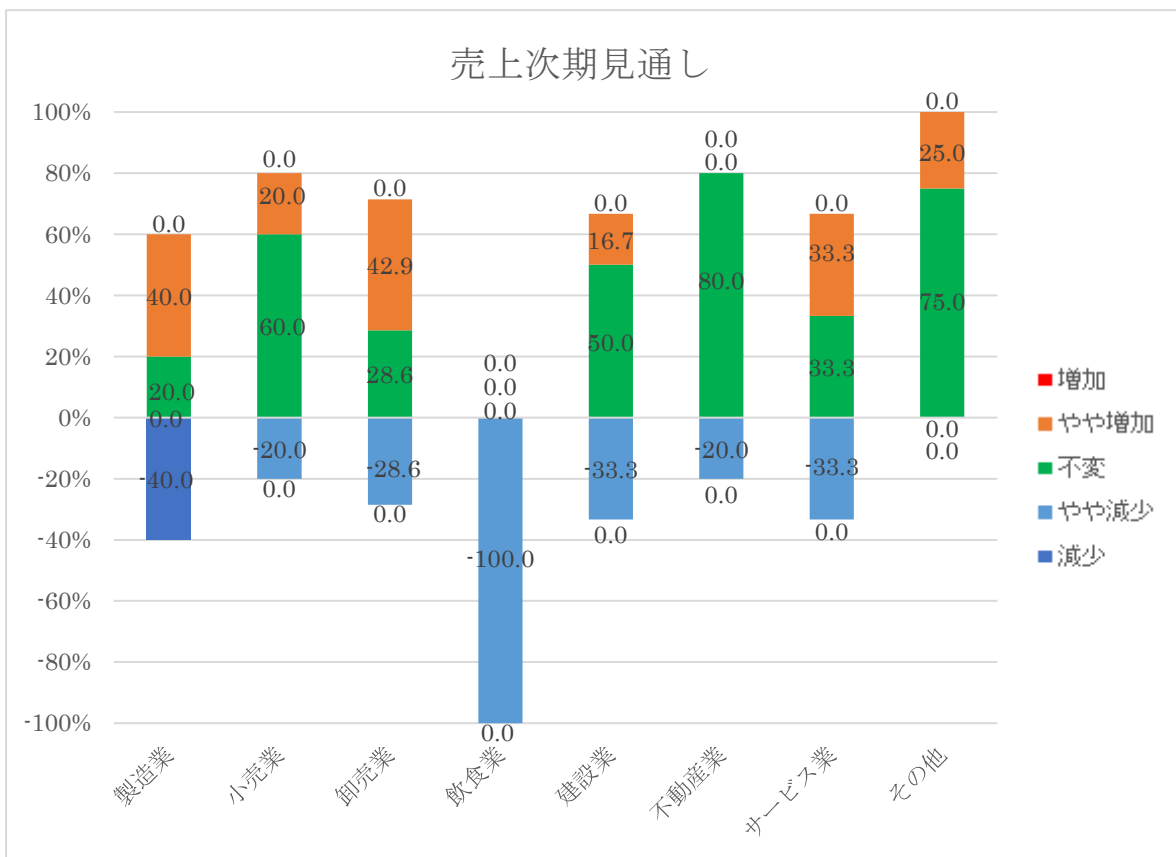
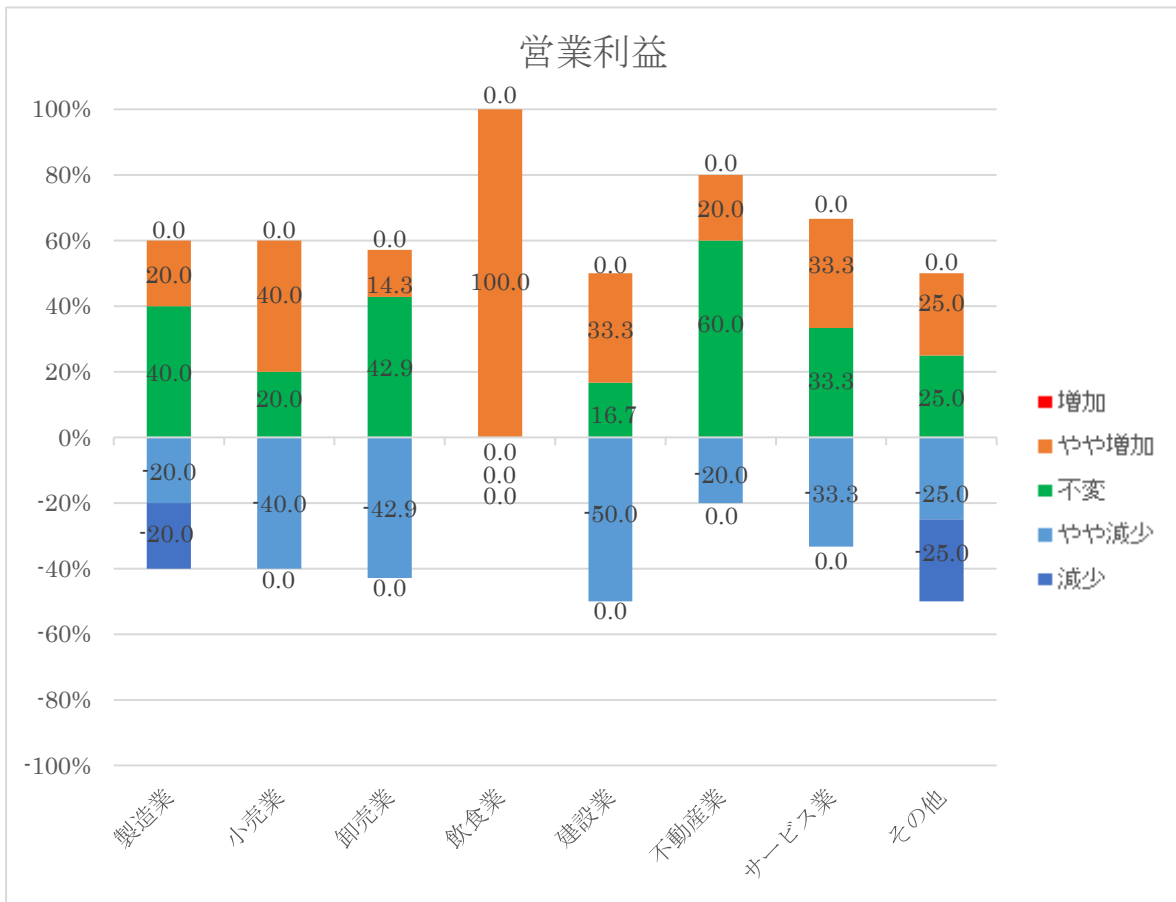
【不動産業】「不変」と答えた企業が 80.0%（前期比 20.0 ポイント減）と最も多く、次いで「やや悪い」と答えた企業が 20.0%となった。

【サービス業】前期と同じく「不変」と答えた企業が 66.7%と最も多く、次いで「やや悪い」と答えた企業が 33.3%となった。

【その他】「良い」、「不変」、「やや悪い」、「悪い」と答えた企業が各 25.0%（前期比各 25.0 ポイント増）となった。

<売上高・営業利益・売上次期見通し>





【製造業】売上高・営業利益において、「不変」と答えた企業が40.0%（前期比11.4ポイント増、17.1ポイント減）と最も多く、次いで「やや増加」、「やや減少」、「減少」と答えた企業が各20.0%となった。売上次期見通しにおいて、「やや増加」、「減少」と答えた企業が各40.0%（前期比40.0ポイント増、25.7ポイント増）と最も多く、次いで「不変」と答えた企業が20.0%となった。

【小売業】売上高・営業利益において、「やや増加」、「やや減少」と答えた企業が各40.0%（前期比2.9ポイント減、11.4ポイント増、11.4ポイント増、40.0ポイント増）と最も多く、次いで「不変」と答えた企業が各20.0%となった。売上次期見通しにおいて、「不変」と答えた企業が60.0%（前期比31.4ポイント増）と最も多く、次いで「やや増加」、「やや減少」と答えた企業が各20.0%となった。

【卸売業】売上高において、「やや減少」と答えた企業が57.1%（前期比28.5ポイント増）と最も多く、次いで「やや増加」と答えた企業が28.6%となった。営業利益において、「不変」、「やや減少」と答えた企業が各42.9%（前期比同ポイント、14.3ポイント増）と最も多く、次いで「やや増加」と答えた企業が14.3%となった。売上次期見通しにおいて、「やや増加」と答えた企業が42.9%（前期比28.6ポイント増）と最も多く、次いで「不変」、「やや減少」と答えた企業が各28.6%となった。

【飲食業】売上高・営業利益において、「やや増加」と答えた企業が各100%（前期比100ポイント増、50.0ポイント増）となった。売上次期見通しにおいて、「やや減少」と答えた企業が100%（前期比100ポイント増）となった。

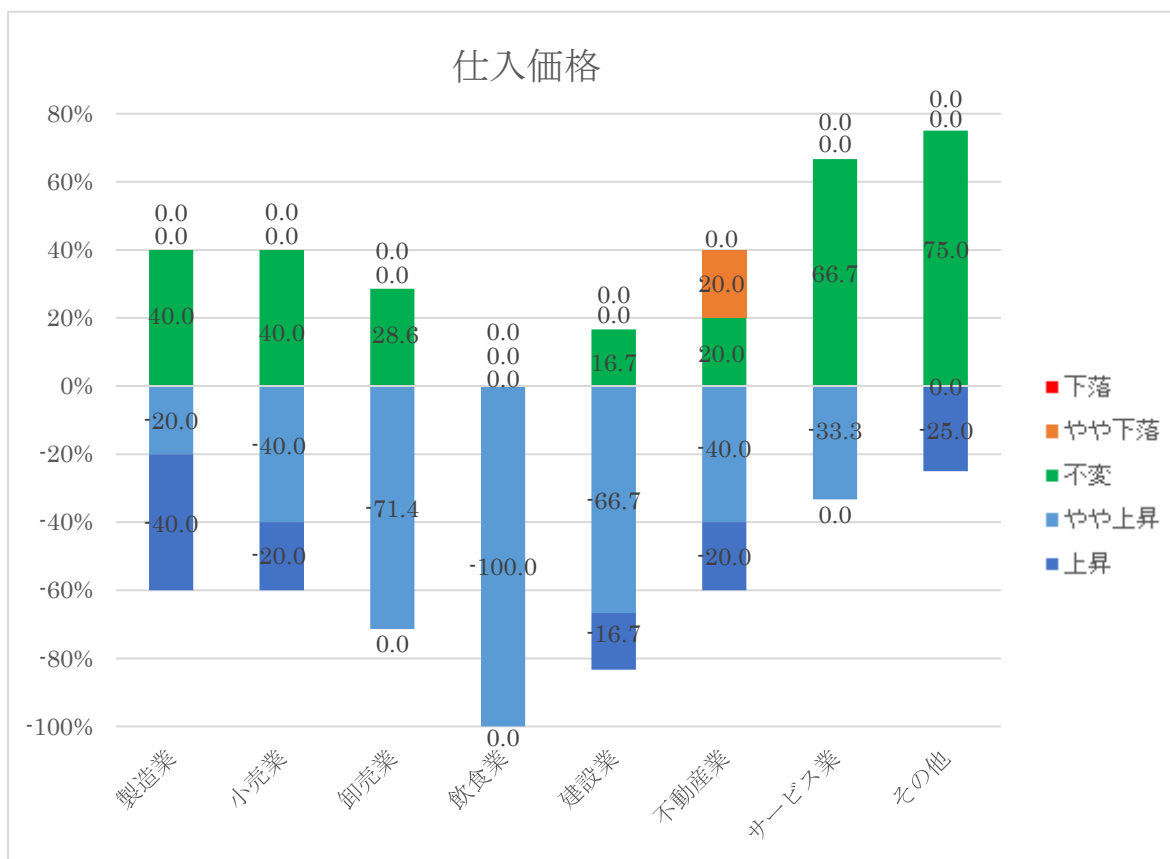
【建設業】売上高・売上次期見通しにおいて、「不変」と答えた企業が各50.0%（前期比35.7ポイント増、7.1ポイント増）と最も多かった。営業利益において、「やや減少」と答えた企業が50.0%（前期比7.1ポイント増）と最も多く、次いで「やや減少」と答えた企業が33.3%となった。

【不動産業】売上高・営業利益において、「不変」と答えた企業が各60.0%（前期比15.0ポイント増、10.0ポイント増）と最も多く、「やや増加」、「やや減少」と答えた企業が各20.0%となった。売上次期見通しにおいて、「不変」と答えた企業が80.0%（前期比20.0ポイント減）と最も多く、次いで「やや減少」と答えた企業が20.0%となった。

【サービス業】売上高・営業利益・売上次期見通しにおいて、「やや増加」、「不変」、「やや減少」と答えた企業が各33.3%となった。

【その他】売上高において、「不変」と答えた企業が50.0%（前期比50.0ポイント増）と最も多く、次いで「増加」、「やや減少」と答えた企業が各25.0%となった。営業利益において、「やや増加」、「不変」、「やや減少」、「減少」と答えた企業が各25.0%（前期比75.0ポイント減、25.0ポイント増、25.0ポイント増、25.0ポイント増）となった。売上次期見通しにおいて、「不変」と答えた企業が75.0%（前期比75.0ポイント増）と最も多く、次いで「やや増加」と答えた企業が25.0%となった。

<仕入価格>



【製造業】「不変」、「上昇」と答えた企業が各 40.0%（前期比 11.4 ポイント増、17.1 ポイント減）と多く、次いで「やや上昇」と答えた企業が 20.0%となった。

【小売業】「不変」、「やや上昇」と答えた企業が各 40.0%（前期比 11.4 ポイント増、31.4 ポイント減）と多く、次いで「上昇」と答えた企業が 20.0%となった。

【卸売業】「やや上昇」と答えた企業が 71.4%（前期比 14.3 ポイント増）と最も多く、次いで「不変」と答えた企業が 28.6%となった。

【飲食業】「やや上昇」と答えた企業が 100%（前期比 50 ポイント増）となった。

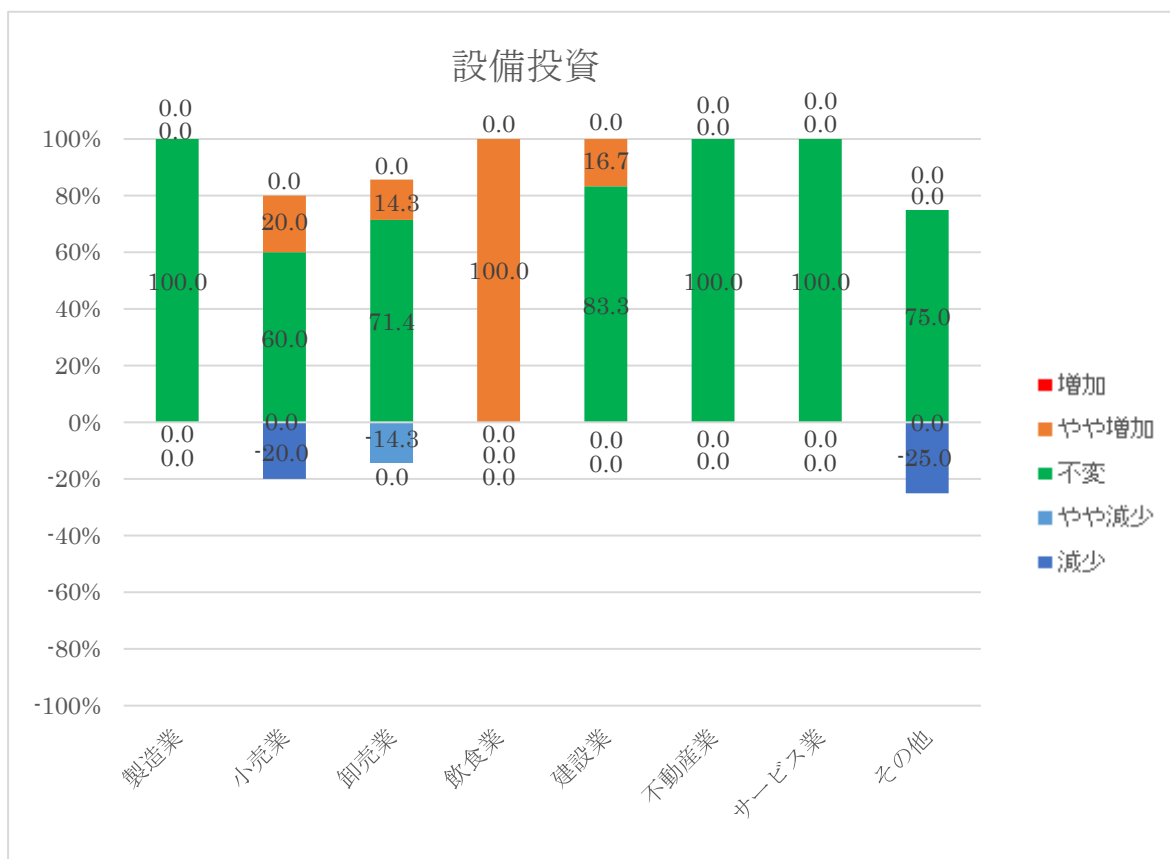
【建設業】「やや上昇」と答えた企業が 66.7%（前期比 38.1 ポイント増）と最も多く、次いで「不変」、「上昇」と答えた企業が各 16.7%となった。

【不動産業】「やや上昇」と答えた企業が 40.0%（前期比 10.0 ポイント減）と最も多く、次いで「やや下落」、「不変」、「上昇」と答えた企業が各 20.0%となった。

【サービス業】「不変」と答えた企業が 66.7%（前期比同ポイント）と最も多く、次いで「やや上昇」と答えた企業が 33.3%となった。

【その他】「不変」と答えた企業が 75.0%（前期比 75.0 ポイント増）と最も多く、次いで「上昇」と答えた企業が 25.0%となった。

<設備投資>



【製造業】「不変」と答えた企業が100%（前期比57.1ポイント増）となった。

【小売業】「不変」と答えた企業が60.0%（前期比25.7ポイント減）と最も多く、次いで「やや増加」、「減少」と答えた企業が各20.0%となった。

【卸売業】「不変」と答えた企業が71.4%（前期比42.8ポイント増）と最も多く、次いで「やや増加」、「やや減少」と答えた企業が各14.3%となった。

【飲食業】「やや増加」と答えた企業が100%（前期比50.0ポイント増）となった。

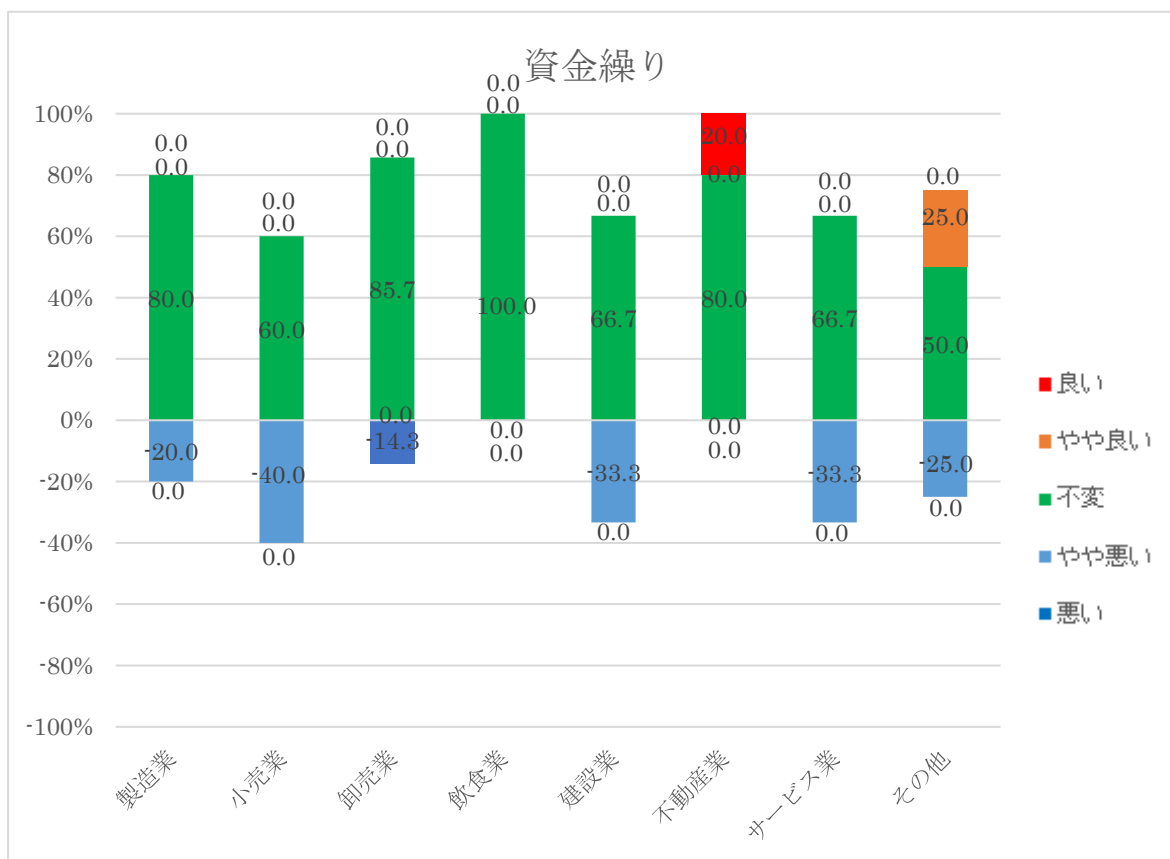
【建設業】「不変」と答えた企業が83.3%（前期比2.4ポイント減）と最も多く、次いで「やや減少」と答えた企業が16.7%となった。

【不動産業】「不変」と答えた企業が100%（前期比50.0ポイント増）となった。

【サービス業】「不変」と答えた企業が100%（前期比33.3ポイント増）となった。

【その他】「不変」と答えた企業が75.0%（前期比25.0ポイント減）と最も多く、次いで「減少」と答えた企業が25.0%となった。

<資金繰り>



【製造業】「不変」と答えた企業が 80.0%（前期比 37.1 ポイント増）と最も多く、次いで「やや悪い」と答えた企業が 20.0%となった。

【小売業】「不変」と答えた企業が 60.0%（前期比 2.9 ポイント増）と最も多く、次いで「やや悪い」と答えた企業が 40.0%となった。

【卸売業】「不変」と答えた企業が 85.7%（前期比 37.1 ポイント増）と最も多く、次いで「悪い」と答えた企業が 14.3%となった。

【飲食業】前期と同じく「不変」と答えた企業が 100%となった。

【建設業】「不変」と答えた企業が 66.7%（前期比 4.7 ポイント減）と最も多く、次いで「やや悪い」と答えた企業が 33.3%となった。

【不動産業】「不変」と答えた企業が 80.0%（前期比 20.0 ポイント減）と最も多く、次いで「良い」と答えた企業が 20.0%となった。

【サービス業】前期と同じく「不変」と答えた企業が 66.7%と最も多く、次いで「やや悪い」と答えた企業が 33.3%となった。

【その他】「不変」と答えた企業が 50.0%（前期比 50.0 ポイント減）と最も多く、次いで「やや良い」、「やや悪い」と答えた企業が 25.0%となった。

<最も直面している経営課題> ※複数回答

業種	内容
製造業	エネルギー・原材料等高騰 30.0%
小売業	エネルギー・原材料等高騰 25.0%
卸売業	エネルギー・原材料等高騰、需要・受注の減少 各 18.2%
飲食業	エネルギー・原材料等高騰、人件費増加、従業員の確保難 各 33.3%
建設業	エネルギー・原材料等高騰 35.7%
不動産業	エネルギー・原材料等高騰 30.0%
サービス業	人件費増加 42.9 %
その他	エネルギー・原材料等高騰、従業員の確保難 各 25.0%

以 上